

「安曇野、よいまちつくろう」～ 安曇野を深掘りし、発信します ～

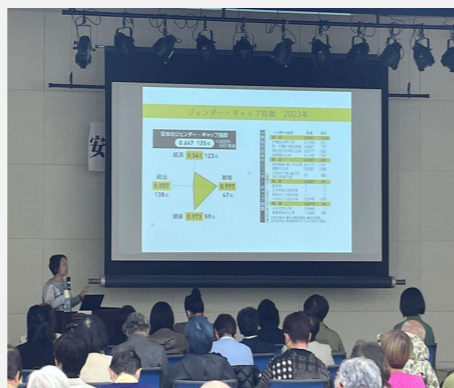
女性をエンパワメントするシンポジウム ～女性のリーダーシップで地域を変える～

市内の有志団体「安曇野から女性をエンパワメントする会」（笠原芳子会長）が、ジェンダー研究者として知られる上智大学法学部の三浦まり教授を招き、シンポジウムを開催しました。「女性のリーダーシップで地域を変える」と題した講演と意見交換を行い、100名の参加がありました。

講演では、「ほぼ全ての時間を政治につき込める「強い男性」だけで行われる、旧来型『男性政治』では、本来、政治の力を必要としている弱い人の声が拾われず、結果的にゆがみが生じている。そうした『男性政治』からの脱却が必要であり、旧来型の議会や選挙の在り方、区などの自治会の構造など変えていくことで、もっと皆が暮らしやすい社会につながるのではないか」とのことでした。また実際に、富山県の南砺市などで行政と地域住民が、女性リーダーを地域として育てるためのワークショップを行っている、などの事例も紹介されました。

会長の笠原芳子さんは、「今回の企画は、気鋭のジェンダー研究者三浦まり先生を講師にお迎えし、深く踏み込んだシンポジウムとなりました。短期間準備での好成果は会員一致協力の結集です。無意識の思い込みや先入観から抜け出し、観察力やコミュニケーションスキルを活かし、多様な場面で、女性が活躍しリーダーシップを発揮できることを目指して、今後も多面的な活動を続けてまいります。」と振り返りました。

一人、二人、ではなく、多くの女性が社会を暮らしやすくすることに関心を持ち、前向きに取り組める安曇野になることを願い、一緒に取り組んでいきたいと思えます。



【小林陽子プロフィール】2023年4月～長野県議会議員。穂高在住。
「安曇野を子どもたちが誇れるふるさとに」をテーマに田園風景と人の営みが息づく美しいまちづくりを目指す。2016年に夫の実家のある安曇野市穂高にUターン、子育てをしながら野菜中心の家族営農にも取り組む。1971年栃木県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。趣味はフルート演奏。

発行 小林陽子後援会

事務所 安曇野市穂高 6073-19 番地(安曇野さんさんハウス内)

TEL/FAX 0263-55-7337 e-mail yoko@sunnydayazumino.com

Web ページ <https://www.sunnydayazumino.com/kobayashiyoko.html>

◆Facebook 「小林ようこを応援しよう！」

◆YouTube 「安曇野さんさんニュース」

◆X 小林ようこ(@sunnydayazumino)



Facebook



YouTube



Web ページ



X

安曇野さんさん通信 第25号

～長野県議会議員 小林陽子活動レポート～

2024(令和6)年4月15日発行

降雪が少なく暖かだった冬。そして足踏みしていた春の訪れですが、やっと桜が開花しました。梅、福寿草、桜、こぶし、ヤマブキと次々に花ひらく、美しい安曇野の春。愛でることができるのも平和だからこそ、と、平和のありがたみを、改めてかみしめます。

県議会議員に就任して1年を迎えます。日頃より皆さまから、温かい励ましやお支えを頂き、多くの学びを得て活動しております。この場をお借りして感謝申し上げますとともに、これからも、皆さまのご意見やお考えを伺い、県政につなげてまいります。



長野県議会 2月定例議会一般質問

2月定例会では、長野県の農村の維持・振興について知事に質問するなど、5つのテーマを取り上げました。



一般質問はこちら
から視聴できます。



1. 【農村の維持・振興を】

県の基幹産業である農業を持続可能とするには、**県民の理解促進が欠かせない。知事の所見を伺う。**

(阿部知事) 農業農村は「社会的共通資本」の代表例で、しっかりと守り引継がなければならない。移住者の増加や担い手の世代交代、都市化の進行など価値観が変化しつつある中、地域ぐるみでの農作業の事例もあり、関係者の相互理解が深まることを期待し、県は制度面等で協力する。

農村の維持・振興について、県の認識と対策、目指すビジョンはどうか。

(知事) 農村の豊かな自然、歴史・文化的な資源などの魅力に着目した地方回帰の動きがある。単に、都市化を目指すのではなく、「大都市には産み出せない価値」を強みとして発展させることは重要。来年度から飯綱町・根羽村をモデルに「輝く農山村地域

創造プロジェクト」を始めるが、女性・若者の活躍、関係人口の増加等の複合的な価値を生み、他地域へ展開を図る。

⇒ 若者や女性も惹きつける、魅力的な農山村を創造してまいります。

2. 【松糸道路の周辺の道路整備は】

県は、令和4年度に松本糸魚川連絡道路の「安曇野道路」の整備に着手した。周辺道路の整備に、住民も期待を寄せており、**山麓線の歩道整備や東西を結ぶ県道の危険箇所の解消等の整備計画を伺う。**

(建設部長) 山麓線は、豊里地籍の交差点の歩道整備、路側帯のカラー舗装等、安全対策を進めている。東西を結ぶ県道は、幅員が狭い、歩道がない等支障のある箇所を、優先順位をつけて整備を進める。